



しよくどう きかん
食道と気管は、はたらきがどうちがうの

しよくどう きかん やくわり き
食道と気管の役割は決まっている

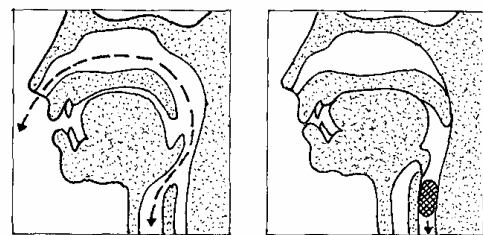
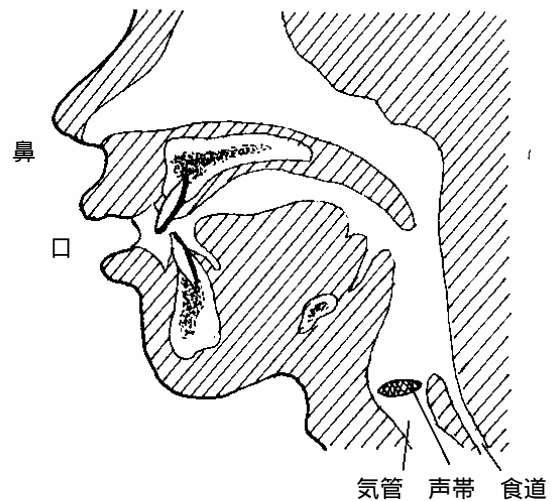
しよくどう は、^た食べた物が、^{のど}のどを^{とお}って^いい^いくための、^{とお}通りみちです。^{きかん}気管は、^{はな}鼻から^す吸った^{くうき}空気が、^{はい}肺へ行くための、^{とお}通りみちです。^{おな}同じのどを通りますが、^た食べ物^のを食べるときには、^{きかん}気管の^い入り口^{ぐち}に^{ふた}ふたをして、^た食べ物^のを^{しよくどう}食道におしこみます。^{ふた}ふたがうまくできないと、^た食べ物^のが^{きかん}気管^{はい}に入ってしまう、^むむせることになります。

しよくどう
食道のはたらき

^た食べ物^のが、^{のど}のどから^い胃^おへ^い下りて行くのは、^{おも}重さ^{だけ}だけでは^あありません。^{しよくどう}食道^{はい}が、^い入ってきた^た食べ物^のを、^{きん}筋肉^{にく}の^{のび}伸び^{ちぢ}縮み^{ぜん}（ぜん^{どう}動^{うん}運動）^で、^う上^えから^{した}下^おへ^い送り、^い胃^おにおしこんでいるのです。

きかん
気管のはたらき

^{きかん}気管^{きかん}や^し気管支^{のか}のかべ^{には}には、^ねねば^ねねば^{した}した、^え“ねん液”^だを出す^{さい}細胞^{ぼう}が無数^むにあり、^く空気^とと^いいっしょ^{はい}に入ってきた^たごみ^をを、“ねん液”^ににくっつけて^と取り^の除き、^{きれ}きれいな^く空気^{はい}を^お肺^くへ^お送る^{よう}ように^ししています。“ねん液”^ににくっついた^たごみ^はは、^{きかん}気管支^{のか}のかべ^ににある、^{せん}“せん毛”^ののはたらき^でで、^{のど}のど^のの方^{ほう}へ^お送り^か返^えされます。これが「たん」です。（監修・保志 宏）



息をするとき

食べる時

